



岩倉 俊之さん (埼玉県在住)

株式会社アールエムクリエイティブ(rm creative) 代表取締役

Pacalla編集部 編集長

北海道静内農業高校卒業。高校在学時は新冠町在住経験あり。web制作会社として大手代理店案件、マーケティング調査からの企画提案、その他、デザインや映像制作など多岐にわたる業務の会社経営を行なう。また、自社webメディアPacallaでは、編集長として、競馬を深く楽しんでもらうため、競走馬の生産、育成牧場を中心に、ホースマンや競馬の世界を広く発信している。

(岩)ただ、それを福利厚生として認めるかで印象も変わると思っています。ワーケーションは『自由度』が高い社風と映るので、ベンチャー企業は、そういうイメージをアドバンテージとして、人材の確保や、定着率の向上につなげる狙いもあると思います。

(鍵)企業が取入れるにも会社の情報の持ち出しなど管理やセキュリティの面がネックとなり、大手企業もなかなか導入が進まないのかもしれないですね。  
(岩)今、ワーケーションをやる方は①IT関連②コンサル系③フリーランスが大半を占めており、偏りが出ていると感じます。

(鍵)取引先の代理店や、前職を振り返ると、今回のモニターのように個人が短期間でどこかに行くという例はあまり聞きませんが、経営層の人たちが会社の中で行なっていた会議や打合せをワーケーションという形で地域で行なうという事例は聞くようになりまし。その他、女性が結婚を機に、相手方の住む地域へ移住する場合は、やむなく退社という流れだったものが、現在はそのまま移住先でも仕事ができるようになってきている企業もあり、リモートワークの普及を感じます。

(岩)ワーケーションという言葉が三年ぐらい前から流行りはじめて、徐々に取り入れる企業は増えてきた印象があります。また、どちらかというと、都心の人たちが地方や田舎に行くというパターンが多いと感じます。

**A** 普及を感じる部分はあるが、人員の確保や定着に向けた福利厚生のアドバンテージになる。

**Q** 都心部の企業におけるリモートワーク・ワーケーションのイメージや推進状況、周りの反応は？



鍵 由希子さん (神奈川県在住)

株式会社アールエムクリエイティブ(rm creative) 勤務  
企業のwebサイト制作の進行管理や企画、クライアントのwebメディアの代行業務など幅広く活躍中。漫画と乗馬をこよなく愛し、乗馬クラブの近さを住む場所の決め手としている。

**Q** 新冠町のイメージや滞在しての感想は？町の強みと弱みはどう感じるか？

『馬産地』一択。  
馬好きにとってもこの環境はたまらない。  
『ICTの町』であるといい胸を張っている。

(鍵)弊社の事業で、新冠町には何度も来町させていただき、まちの状況は把握した上での参加ですが、現在のように関わる前だと、『馬産地』というイメージ一択で、北海道のどこに位置しているのかも分かりませんでした。

(岩)サラブレッド銀座もありますし、やはり『馬産地』のイメージが強いです。また、学生時代こちらに住んでいたのも、地元寄りの感覚でいくと日高管内でも先進的なことに取り組んでいる町というイメージがあります。

(鍵)ホテルの近くに乗馬クラブがある環境は、馬好きな人にとっては、もうたまりません。合宿をメインにした乗馬クラブもあり、周りに通っている人も多いのですが、合宿期間はやはり有給休暇が必要になります。しかし、新冠町では、有休を使わずにレッスンを受けられ、その他の時間は仕事に充てられる。この環境は強みで魅力でもありません。あと、私だけかもしれませんが、郷土資料館がとても面白かったです。今、あのような手作り感が溢れる博物館が流行っているんです。

(岩)新冠には特産品のピーマンや牛乳、お肉もありますが、全国的に見た時に町の強みとして言えるのは『馬』と『ICT』だと思います。町の身銭を切って町内全域に光回線を整備し管理していくという決断は、全国的に見ても珍しく、本当にすごい事だと思っています。

そういう意味でも新冠町は『ICTに強い町』と胸を張って言えると思います。

(鍵)弱みとしては、交通の便です。ね。都市圏に住んでいる若者、特に女性はペーパードライパーが非常に多いので、この町で運転が難しいの移動やご飯の確保などが起きると感じました。



**Q** リモートワークの拠点とする場合に必要なサービスは？

**A** IT系の業務はパソコンとにらめっこ。その環境に適した環境があるとありがたい。

(鍵)細かいことにはなるんですが、IT系の業務は、ずっとパソコンとにらめっこになるので、机と椅子の高さがかなり重要になってきます。ホテルヒルズの温泉棟にあるコワーキングスペースは問題ないのですが、夜に動きの多い職種なので、部屋で夜中に作業をする環境がもう少し整うと、とても作業しやすくなると思います。

また、オンラインのミーティングは、部屋で行なうことになると思うのですが、今の客室照明では少し暗いと感じました。施設内にミーティングスペースがあれば、是非、活用したいです。

その他、大きいモニターがあると便利でありたいです。特に、デザイナーさんは、モニターで作業されることが多いので、貸出サービス等があると助かります。  
(岩)食事のサービスについては、滞在中の車の有無でニーズは変わってくると思います。





**Q** 朝日小学校の活用アイデアは？  
**『地方創生』と絡めた『ICTのまち』の今後を提案。**  
**A** 都市部の企業は地域拠点の重要性に気づき始めている。

(岩) 施設見学をした第一印象としては、何にでも使えると思います。廃校活用の事例は全国的に多いので、アイデアは似たり寄ったりな答えになるかもしれませんが、町としてどこまでお金をかけて、どこまでやるのか、明確な方針の打ち出しが重要だと思います。

また、少し壮大な話しになるのですが、一つの軸として『ICTに強い町』という打ち出しは大きな反響があると思います。「新冠町はICTで地方創生を目指します！」と謳った時、この町に多くの人や企業は興味を持ちます。企業から見ると、地方創生というのは、とても需要がある領域でもあるんです。

DX化する際は、頭で考えていても、現場導入をしてみないと正解は出ませんし、現地調査をしなければ本当のニーズも分かりません。

そこで、

『朝日小学校を使って『ラボ』を作ります。企業の皆さんは、その中で、ICTを活用した研究開発等を行ってください』

という形で呼び込むと、①周辺農家さんと連携した実証実験や、②季節労働者として農家さんを手伝いながら、現場で本当に必要とされるICT技術を発掘し、その研究開発をもらうという双方の課題を補い合う面白い仕組みが生まれると思います。

さらに、そこで研究、開発したものが商品化となれば、①日本全国の農家さんに活かされ②横展開での販売や、③開発したデータも販売できれば大きな収益も見込まれるので、日高全域が活性化する取り組みになると思います。

(鍵) 地方創生の取り組みの中で、失敗する要因は『東京(都市部)に居て、地方を考えているから』と言われています。やはり現地に拠点があつて、そこで実際に見る、体験することの重要性に各企業が気づき始めていると感じるので私もその考えは良いと思います。

(鍵) また、別な話になりますが、朝日小学校には、何かを作るのにちょうどいいスペースが多いのも気になります。都内にはアトリエのようなものが持てない若手の現代作家さんが多く、そういう人たちに教室単位で貸出すとかどうでしょうか？ 学校って子供たちが実際に何かを作ったりする場所ですし、隣の部屋で別の作家さんが違うことをやっている環境だと、化学反応じゃないですけど、また、新しいアイデアや交流が生まれ、面白いと思います。



**編集後記**

**Q** 新冠町の活性化に向けたアイデアは？  
**『ここできしかできない体験』は効果的で重要なツール。若者の傾向を捉えた呼び込み方法も実施すべき。**  
**A**

(岩) 自治体側の理想と、来る側の要望をうまくかみ合わせるのにはすごく難しいです。それでも、全国1700ある自治体の中から選んでもらうためには、中途半端なアイデアは見向きもされないもので、研ぎ澄ませられ、かつエッジの効いたものが必要です。ちようどウマ娘のブームで、興味を持って来てくれている人がいる中で、他ではやっていない牧場体験は有効だと思います。例えば、町内の養老牧場さんとタッグを組みながら、来る人の様々なスキルと牧場の課題とをマッチング(例として、造園業の方→草刈りや環境整備、建設業→厩舎の修繕やリフォーム等)も、牧場体験の一つの形になるんじゃないかなと思います。

町の地域課題である、少子化抑制や移住促進を考えた時、個人に対しては、そういう牧場体験や地域との交流・貢献を通じて「ここに住んでみたい」「牧場で働いてみたい」という人を増やしていく構想も必要かなと思います。

その他、全国的に流行っていますが、『おてつたび』。地域課題に対し町民の負担を軽減していく事業メリットは、新冠町でも効果はあると思います。やはりここできしかできない体験ができるのであれば、新冠町に来る理由ができますし『体験』というのは重要なツールになりますね。

(鍵) 今の若い世代は、お金や地位というより、社会貢献という概念を重視する子が多く見受けられますね。なので「あなたのアイデアが、新冠、そして日本の農業を変えていく」というテーマを打ち出し、その中で、実際の農家さんとの連携や町の既存事業を活用しながら、研究開発、さらには新規就農といった可能性もあると思うので、そういう若者の傾向を捉えた呼び込み方も有効であると思います。



株式会社  
 アールエムクリエイティブ  
 rm creative



会社HP



HP



X  
 (旧Twitter)



Instagram



YouTube



Facebook

今回の意見交換会には、事業参加の鍵さんのほか、来道していた所属会社の岩倉代表にもご参加いただきました。岩倉代表は学生時代新冠町に在住経験があるほか、お二人とも会社の業務(取材等)で、頻繁に来町されていることから、町のイメージや課題に寄り添った濃い意見を沢山いただきました。また、町内の牧場関係者から、本事業の紹介を受け参加に至ったとのこと、牧場の皆さまにも感謝申し上げます。

なお、鍵さんの滞在記は、お二人の会社が運営するPacalla「パカラ」にて掲載されることになりましたので、是非ともご覧ください。

今後とも、一緒に馬産地を盛り上げていただくと幸いです。